

デンソー健康保険組合、愛鉄連健康保険組合

背景

健保共通課題 = 被扶養者特定健診受診率（健診データがないと各種データヘルス事業の展開困難）

- 多様な健診や督促等の対策 ⇒ 積極的に実施するが34%（7,000人）は未受診
- 未受診理由の24%（1,700人）が「治療中」 ⇒ 治療中患者に特化した事業は未実施 ※デンソー健保実績より
- ⇒ 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第3.2版）3-2-2」に治療中患者に対して特定健診を推進するよう記載はあるが**実施している健保は少ない**

目的

- 被扶養者の特定健診受診率向上
- 治療中患者の健診データ把握
- 単一健保でも総合健保でも対応できる事業スキームの構築

➡ **データヘルス事業の強化**

内容

<医療機関からの検査情報回収>

1. 委託業者を通じ保険者と医師会（対象エリアを限定）とが連携し、検査結果情報の提供スキームを構築
2. 対象者（特定健診未受診者かつ生活習慣病関連治療中患者）を抽出し、検査情報の提供を促す案内を作成・発送
3. 対象者が医療機関へ受診した際に案内を提示し、医師が検査情報を専用シートへ転記
4. 転記した情報を元に、委託業者が特定健診データ及び個人結果表を作成



<組織・役割>

デンソー健康保険組合
愛鉄連健康保険組合

株式会社あまの創健：事務局、企画・運営、案内作成

NPO法人健康情報処理センターあいち：医師会との連携主体、健診データ作成

名古屋大学 予防早期医療創成センター：第三者評価機関

健康保険組合連合会愛知連合会：後援

スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
段階	現状分析・スキーム構築		対象者抽出・案内発送		検査情報回収・健診データ作成			効果検証・課題抽出	
定例MT	👥👥👥	👥👥	👥👥	👥👥	👥👥	👥👥	👥👥	👥👥	👥👥
進捗確認・評価		👤👥	👤👥	👤👥		👤👥			👤👥
検討・確認内容	<ul style="list-style-type: none"> 対象者定義 案内用紙内容 検査情報回収フロー 			<ul style="list-style-type: none"> スタート後の課題抽出 回収状況や課題に応じた対策 医療機関との情報共有 			<ul style="list-style-type: none"> 事業効果 今後に向けた課題と対策 他保険者への展開方法 		
実務内容	<ul style="list-style-type: none"> 案内用紙の作成 医師会との連携スキームの構築 		<ul style="list-style-type: none"> 対象者の抽出 各種案内を発送 		<ul style="list-style-type: none"> 医師が検査情報を専用シートへ転記 転記情報を元に健診データ及び個人結果表を作成 			<ul style="list-style-type: none"> コントロール群との比較検証 報告資料作成 	

ロジック・モデル (アウトカム)

治療中患者の特定健診受診率向上 ⇒ 健診データの把握 (本人・健保) ⇒ 治療中患者の生活習慣改善意識向上 ⇒ 医療費の適正化
 ⇒ 健保全体の特定健診受診率向上 ⇒ データヘルス事業の強化

成果指標 (第三者評価委員会にて詳細再検討予定)

- コントロール群 (非介入群) を設定し、特定健診受診率向上割合を介入群と非介入群とで比較
- 実績と目標値との割合に応じて支払金額を設定

